



発行人／吉岡正人広報委員長

発行／公益社団法人千種法人会

〒464-0067 千種区池下1-4-18 1F 213F

電話 (052) 763-0951

企画・編集／東海紙正株式会社・株式会社グラネット

印刷／東海紙正株式会社

<https://hojinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/chikusa/>



名古屋  
KEN

全 予 約

:00 休診日：毎週

52-938-

株式会社いぬの整体院

わかおるみ

若尾 瑠美さん

# 第13回通常総会

日時／令和7年5月23日(金) 14:00～18:40  
会場／ホテルプラザ山 飛翔の間 千成の間



会長あいさつ  
水野茂生

## 会長あいさつ

公益社団法人千種法人会の第13回定時総会にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

会員の皆様をはじめ関係各位におかれましては、日頃から千種法人会の活動に対しまして、格別のご理解とご支援を賜っておりますことを心より御礼申し上げます。

本日は、時節柄、ご多用の中、千種税務署から江端長祐署長様はじめ、多数のご来賓の皆様にご臨席を賜りまして、厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、このところの活動を振り返ってみますと、令和5年10月にインボイス制度が実施され、また、昨年1月の改正電子帳簿保存法の施行、6月からの定額減税の実施など大きく税制が改正されております。引き続き税務協力団体として税務署等と連携を図りながら、「給与等の源泉徴収事務に係る令和6年分所得税の定額減税説明会」や「年末調整時における定額減税事務説明会」をタイムリーに実施し多くの皆様に受講していただきました。

そのほか会員の皆様方からの開催要望が多い研修会である①新入社員研修会②中間管理者研修会③やさしい法人税セミナー④改正税法研修会⑤源泉所得税研修会 ⑥自主点検チェックシート研修会など開催し、相当多数の会員の皆様にご出席いただいておりますことをこの場をお借りしまして感謝申し上げます。

その中でも税務署の皆様方にご協力いただいております。新入社員研修会や中間管理者研修会は、それぞれに税務署の若手職員や幹部職員にもご参加いただき、ご指導を受けつつ、皆様にとりまして何かプラスになるような方法を見出してきております。皆様方と力を合わせてそんな環境で活躍できたこと、ご協力いただいたことを厚くお礼申し上げます。

また、地域社会貢献事業として実施しておりますさくらスーパーハカセも、おかげさまで今年12回目を迎えております。東山植物園の桜の回廊の100種1000本の桜の名前を一つでも覚えていただく、桜の木々が、ヤマザクラでございますので、一本一本の木々が親しみを持って皆様を迎え入れてくれる。今年もフォトフレームを使ってお客様の写真を撮る。実はその中で大変嬉しいことがございました。新婚のカップルがいらっしゃって、二人でそのフォトフレームで写真を撮られまして、結婚式でこの写真を使ってもいいかとの問い合わせもありました。これも地域の奉仕ということで皆様のご協力が賜りましたこと感謝申し上げます。

千種法人会は、「よき経営者を目指すものの団体」です。税のオピニオンリーダーとしてますます頑張っております。このように多くの会員が揃って参加し開催させていただきますのでご理解ご協力のほどお願いいたします。

最後になりましたが、税務ご当局をはじめ関係各位の変わらぬご指導、ご支援をお願い申し上げますとともに、会員の皆さまの益々のご健勝と事業のご繁栄を心より祈念いたしまして、誠に簡単ではございますが会長挨拶とさせていただきます。

## 広報誌「ちくさ」7月号 目次

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 第13回 通常総会                 | 1  |
| report                    | 2  |
| 青年部会総会                    |    |
| 女性部会総会                    |    |
| 青年部会定例会                   |    |
| 青年部会 確定申告PR街頭広報           |    |
| 表紙の人                      | 4  |
| 若尾 瑠美 さん                  |    |
| 名古屋市内9法人会合同講演会            | 6  |
| report                    | 8  |
| 内山・大和・上野支部 合同役員会          |    |
| 事業委員会                     |    |
| 女性部会 新春演奏会・フードドライブ        |    |
| 第12回 さくらスーパーハカセ           |    |
| 広報委員会                     |    |
| 名古屋市内9法人会 青年部会            |    |
| 女性部会役員会                   |    |
| 愛知県法人会連合会 大規模法人経営者国税局長講演会 |    |
| 新入社員研修会                   |    |
| 女性部会役員会                   |    |
| 総務委員会                     |    |
| 正副会長会                     |    |
| 理事会                       |    |
| 税務情報                      | 10 |
| report                    | 12 |
| 名東区民まつり                   |    |
| 青年部会租税教室                  |    |
| 税務連絡協議会定期総会               |    |
| 租税教育推進協議会定例会議             |    |
| 青年部会定例会                   |    |
| 女性部会役員会                   |    |
| 改正税法研修会                   |    |
| 千石支部役員会                   |    |



千種税務署長  
江端長祐氏



愛知県名古屋東部県税事務所長  
藤田真治氏



名古屋市栄市税事務所長  
神谷勝美氏



千種税務連絡協議会名古屋税理士会  
千種支部長 会長  
高桑誠一氏

## 表彰式



千種税務署長感謝状  
寺野哲也氏



千種税務署長感謝状  
増田正氏



千種税務署長感謝状  
水野親則氏



愛知県法人会連合会会長感謝状  
堀場三千雄氏(代理)



愛知県法人会連合会会長感謝状  
水野茂生氏



会員増強表彰(支部)  
上野、大和、千石、貴船、藤が丘支部



会員増強表彰(協力保険会社)  
櫻井成子氏



会員増強表彰(協力保険会社)  
平野恵正氏

## 理事会

議題:代表理事及び業務執行理事選定の件



### 会長(代表理事)、副会長及び専務理事名簿

| 役 職   | 氏 名   | 法 人 名            |
|-------|-------|------------------|
| 会 長   | 廣瀬 光彦 | 医療法人オリエントタルクリニック |
| 副 会 長 | 振甫 順  | 有限会社杏林殖産         |
| 副 会 長 | 池田 幸平 | 東海紙工株式会社         |
| 副 会 長 | 吉岡 正人 | 吉岡電気工業株式会社       |
| 副 会 長 | 安藤 之人 | 丸星商事有限会社         |
| 副 会 長 | 城所 真男 | 重機商工株式会社         |
| 副 会 長 | 山田 茂子 | クリーン商事株式会社       |
| 副 会 長 | 鳥山 政明 | 名三工業株式会社         |
| 専務理事  | 西谷 正博 | 公益社団法人千種法人会      |



**税制改正のポイント**  
千種税務署法人課税第一部門統括官  
青葉ひろみ氏



**税にまつわる話**  
千種税務署長  
江端長祐氏



廣瀬光彦会長



江端長祐署長



水野茂生顧問



青年部会  
部会総会

日時:令和7年5月13日(火) 17:00~  
会場:ホテル ルプラ王山 葵・金鯨の間



江端長祐署長、土井志保副署長、青葉ひろみ第一統括官



江端長祐署長



水野茂生会長



吉岡正人副会長



大和直樹部会長



細川雅也新部会長



## 女性部会 部会総会

日時: 令和7年5月14日(水) 15:00～  
会場: ホテル ルブラ王山 白帝・葵の間  
講師: 小川直子氏 生ゴミたい肥アドバイザー  
演題: 「お家でできる、地球にやさしい暮らし始めませんか？」  
～ダンボールコンポストで生ごみを堆肥に～



江端長祐署長



水野茂生会長



加藤ひとみ部会長



小野由紀子新部会長



## 青年部会 定例会

日時: 令和7年2月20日(木) 19:00～  
会場: 今池ガスビル 7F サファイアルーム



## 青年部会 確定申告PR街頭広報

日時: 令和7年3月3日(月) 10:00～15:20  
広報場所: 千種税務署管内(千種区・名東区)



## 青年部会 定例会

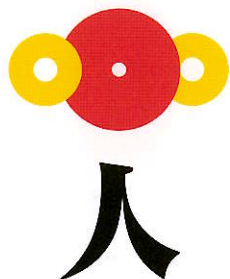
日時: 令和7年4月16日(水) 19:00～  
会場: 今池ガスビル7F プラチナルーム



## 青年部会 定例会

日時: 令和7年5月22日(木) 19:00～  
会場: 今池ガスビル 7階 プラチナルーム





取材日時…令和7年4月8日(火) 13:30~15:30  
取材場所…名古屋ドッグ整体KENKEN  
聞き手…鈴木美奈子 広報委員、太田照子 広報委員、  
遠藤乱歩 広報委員

わかおるみ  
若尾 瑠美さん

株式会社いぬの整体院 代表取締役  
名古屋ドッグ整体KENKEN 院長  
一般社団法人日本ドッグ予防医学指導協会 理事長

# 命の輝きと向き合って



## ドッグ整体を始めるきっかけは愛犬に起こった出来事。

——どのような出来事があったのでしょうか。

私が初めて心を通わせた人生のパートナー、ミニチュアシュナウザーが2012年11月のある朝、全く動けなくなってしまったのです。仔犬の頃から弱く、怪我や病気が絶えなかったのですが、その日は声も出せず痙攣している状態でした。それは私が(人の)整体院に就職して2日目のことでした。動物医療機関で精密検査を受けたものの、結果は対処の仕様がないうことで痛み止め薬を処方され、余命宣告のようなことも言われてしまいました。何とか愛犬を苦しみから救いたいと思い、就職先で先輩に相談したところ連れてくるように言ってくれたのです。先輩たちと一緒に手探りで初の施術。そうしたら何と愛犬は立ち上がり歩き回り、パイプ椅子に飛び乗って嬉しそうに一声ウオーンと啼いたのです。先輩たちは人の整体師で犬も猫も飼ったことがない人たち。股関節や背骨の位置を確かめながらの施術でした。その後、定期的に施術を重ねると、すっかり回復していきました。あの時の感動は忘れることはありません。先輩たちへの感謝が胸に溢れました。

日本では人の整体院はあってもペットの整体院はありません。そもそも構造医学としての考え方を持っているところが少ないのが現状。人も犬も同様に体の歪みが様々な不調の原因となることがあるのです。かかりつけの獣医師ともペットの整体院があればいいなという話をよくしていましたね。勤めていた(人の)整体院の社長から、「恩返しなさい」と言われ、私は愛犬が復活できた体験を通して、全国の不安な想いを抱えているご家族のために犬の整体院をやろう!と心に決めました。そしてすぐに勉強・研究に没頭、犬向けの整体メソッドを創り、法律的問題もクリアして犬向けの整体療法の事業を2013年1月に立ち上げました。日本初の「犬の整体院」です。私の愛犬が救われたことへの「日本への恩返し」という気持ちでした。

## 犬の体の構造を理解し 様々な角度から可能性を引き出します。

——ドッグ整体ではどんなことをするのですか。

基本的に体を整える目的で行なったことは、それは「整体」になります。ですので、どんな手技・手順かは決まっていないうですね。ただ、多

くの方は、「整体」といえば、「歪みを整え、痛みをとってくれる」イメージをお持ちなのではないでしょうか？

私たちが行なっている整体というのは骨格矯正です。私の実家は(人の)整体院で、母は優秀な整体師でした。そんな母から学んだのは、まず骨から診ていくということです。骨の歪みを整え、次に筋肉の歪みを整えます。たとえば骨盤の歪みを整えると周りの筋肉も緩んでいきます。しかし、そのためには骨格と筋肉、神経との関係を正しく把握しなくてはなりません。多くの整体院では筋肉をほぐしたりストレッチをさせたり、電気を当てたりしますが、これは遠回りのアプローチだと思います。うちでは体の核である骨から整える…外側からではなく内側、芯の部分から本来あるべき状態にしていくという考え方です。歪みは神経を圧迫し、神経は血液、リンパ、内臓、脳など体のあらゆる機能を支配してしまいます。骨と筋肉の歪みを整えることで痛みなど様々な直接的症状を改善し、内臓機能や皮膚回復につながり、自然治癒力を引き出すのです。

骨の矯正というとボキボキ、バキバキというようなイメージがあると思いますが、うちの場合それはありません。また治療だけでなく予防ケアや老犬生活のサポートやアドバイスも行なっています。

## 大切なのは問診と座学。 飼い主さんの卓越した観察力と融合する知識と経験。

——診察を受けに来る犬の不調はどうやってわかるのですか。

先ほど施術したフレンチブルドッグのルイ君は元々脳の痙攣があるのですが、いつもより大人しいし眠る時間が増えたのを心配した飼い主さんがルイ君を連れて来院されました。季節の変わり目で症状が出てしまったのでしょうか。そこで頸椎、頭蓋骨を整えたら循環が良くなり、今は自分の自然治癒力で体を治そうという方向へ向かっています。眠いのは脳に酸素を送ろうとしているから。この見解は座学による知識です。

診断力という観点で言えば、飼い主さんの観察力は凄いものがありますね。体調が悪いから施術して欲しいと通院されていたある飼い主さんによると、病院で診てもらっても異常はないのだけれどお腹の調子が悪いと思う、と仰るのです。どうしてわかるのか聞くと、過去にお腹が不調の時こんな顔していたと…。施術したら見事に顔色が良くなりました。飼い主さんの診断力には、たとえ獣医業界にブラックジャックがいたとしても敵わないだろうな、と思いましたね。日々顔を見て非言語コミュニケーション能力を高め、「見ればわかる」という診断力に繋がるのでしょうか。ただ立ち上がりが悪いなどの誰が見ても明らかに不調とわかる症状がある場合は、正しい座学と言いましょか、ドッグ整体師の知識と経験が力を発揮します。

## 新しいことを始めて起きる障壁は必然の過程だと捉えています。

——今までで苦労なされたことは何ですか。

私の経験は他人から見たら苦労の連続だと思われるでしょうね。ペット業界関係者や人の整体関係者からの嫌がらせ、私の名前や関連団体を装った人たちの横行、陰湿なクレマー……あとは、経営者としては無知でしたので前職の社長に結構騙されて、創業期に200万円で協会を設立したはずが法人登記されていなかったとか(笑)、私の犬の整体院の屋号とロゴが勝手に商標登録されていて、法人化するとき屋号を改名するしかなかったとか(笑)、挙げればキリがありません。でも私は初めて何かをやる場合についてまわるプロセスなのだと捉えています。

苦労というより、一番辛かったのはスタッフの裏切りでした。法人化する前から弟子のような形で私についてきた女性がいて、私はすっかり信じ切っていたのです。法人化した最初の頃、私はセミナーとか講演会で全国を飛び回っていて、名古屋にあまりいませんでした。後で知ることになるのですが、彼女は暗躍して会社と協会という2つの組織を内側から揺るがしていました。自分の妹弟子にあたる協会の会員(受講生)や犬の整体院の後輩スタッフを、様々な形で排除していったのです。そこにあったのは独占欲、ジェラシーだったようです。しかもそれだけではなく、不正行為や窃盗、取引先・お客様たちに対する悪事の数々もあって、あまりのことに驚きショックを受け、経営者として感覚が鈍かったことに深く反省もしました。2017年の2月にいろんな事件が同時発覚してからは、処理に追われる日々でした。顧問弁護士の先生には本当によく寄り添ってもらいました。また、二次被害、三次被害で失ったものも沢山ありますし、事件発覚から1年半ほどは、精神的にも本当に厳しい日々を送りました。でも、その辛い時期に「先生!KENKENは絶対社会に必要なお店だから、無くなったら困るのでどんなことがあっても廃業したら駄目だよ!」と仰ってくださったお客様がいて、これは本当に力になりました。また、一度は辞めたスタッフが「若尾先生を支えた。KENKENを立て直したい」と事件発覚後に復職してくれ、そのスタッフと一緒に2017年9月に理念・指針・ビジョンを作り直したのです。指針ミーティングしているときに「KENKENと一緒に幸せになろう」と泣きあったことは一生忘れないと思います。

## 目標を達成し、同じマインドのスタッフと働く今が幸せ。

——楽しかった思い出、現在の楽しみなど楽しみについて教えてください。

私は結構ワーキングプアで生きてきました。夢を追ってやりたい仕事をやるには貧乏な時期があっても仕方ないと思っています。

贅沢をしたいとは全く思わないのですが、人並の暮らしはできておらず、40歳までにこうなりたいという思いや目標は常にありました。一つは暮らしのグレードアップ。段階的にそれを叶えてきて、昨年の9月に今のマンションに引っ越しました。やっと欠陥のない普通の部屋に住めるというか、とても居心地よい住処で、そこで過ごす時間は至福の喜びです。また、2014年春に車が壊れて、お金がないため買い替えることはできませんでした。ちょうどその頃は、9月に会社を退職し犬の整体事業だけで今後やっていくことを決めただけでした。「独身が犬のマッサージなんかで食っていけるわけがない。何真面目に法人化とかしちゃってんの?」と腹を決めた私を笑う女性経営者たちがいました。そこで、「犬の整体だけで新車でこの車を買ってやる!」と、ずっと以前に一目惚れした車を40歳までにキャッシュで買おうと心に決めました。パソコンのデスクトップにその車の写真を貼って眺めながら…。2020年3月、目標通りついにキャッシュでフィアット500を購入。一番の楽しみはフィアット500で安全地帯と呼べる我が家(マンション)に帰り、いとおしい愛犬と寛ぎの時間を過ごすこと。「人並の日常を過ごしている」というこの小さな幸せに満足しています。

## クオリティーとマインドを培い、しっかりとした業界を創るのが夢。

——将来の展開や夢はどのようなことですか。

2013年に描いたビジョンは、47都道府県にドッグ整体師(仲間)を作り、全国のご家族がドッグ整体を受けることが出来るようになる世界を目指していました。2013年～2017年の事件発覚後くらいは全国

に事業を展開することを中心に活動していて、お弟子さんに開業させたり、動物病院の中に作ったりハビリセンターにうちのドッグ整体を取り入れてくれる獣医さんがいたり、私も仲間づくりに精力的に活動をしていました。でもスタッフの起こした事件によるきっかけもあり、気づいたことは、KENKENでのクオリティーやマインドがなかなか思うように伝播していかないことでした。想いや対応力を育てることは授業では難しいです。技術だけではいけないですし、その技術も現場と机上では学びの深さが違います。「木を見て森を見ず」という言葉がありますが、「創業期の私は森を見て木を見ていなかったのではないかな」と感じました。創業時も今も、遠方県外のお客様が大量多く愛知までいらっしゃいます。質が高く圧倒的なクオリティでなければ、私たちのドッグ整体ではないのではないかと感じます。言語で細かく症状を訴えたり術者に感想を述べたりすることのできない犬は、ともすれば飼い主や術者の自己満足(思い込み)で終わってしまったり、診断や症状の把握をできていなかったりすることもあると思います。だからこそ、正しい知識と技術、そしてそれを支える信念や想いがとても大切になってくると思います。マインドがしっかりしていれば、道がずれてしまってもダッシュで元居た場所に戻って再チャレンジすることが出来ます。

ビジョンは常に更新しなければいけないと思いました。壮大なものではなく、地道に日々の着実な技術やマインドを醸成することこそ大切だと考えるようになりました。

今はこの仕事を通じて自分やスタッフの命を輝かせ、ペットや飼い主さんを救うことに心血を注ぐ…日々の地ならしによって次の世代や後継者が、この業界を創っていったらいいなと思っています。今は2店舗ですが3店舗設立が目標。2030年までに達成できれば、と思っています。

KENKENの理念は「家族の笑顔」。人生を使って人を喜ばせ犬も喜ばせ、家族みんなを笑顔にするお手伝いができるこの仕事にスタッフは誇りを感じてくれています。事業開始当初は、「犬のマッサージで食べていけないわけがない」と笑う人が沢山いました。今は誰も笑わない。想いだけでは確かに足りない時もある。でも、その想いが、誰かのためになることで、情熱をかけられることで、かつ好き(または得意)なことだったら、使命になり、仕事にもなり得ます。大切なのは、自分の気持ちが「世の中をよくするためだ」と信じられるかどうか。私たちは命と密接にかかわるお仕事です。「使命」とは「命を使う」と書きます。命の光は個性差があり期限も量もそれぞれです。命の光を使い切って死ねれば本望だと思います。何のために生まれたのか、この命の光を燃やして誰を照らせるのか何を照らせるのか、そんなことを日々考えて仕事をしています。



名古屋ドッグ整体KENKEN

運営:株式会社いぬの整体院

名古屋市中区栄生3丁目6番8号-2 Reiwan101

Tel.052-938-4242 <https://nagoya-kenken.com>

# 人が居て、私が居る。

俳優 高橋 英樹 さん



名古屋のみなさんこんにちは。俳優の高橋英樹です。誠にありがたいことに、私は今年芸歴64年を迎えます。順風満帆、長い間この業界で仕事ができていることは、ファンの方々はもちろん、両親はもとより、諸先輩方、後輩たち、そして妻や娘の家族など、私をとりまく周りのみなさまが支えてくれたからこそであることは間違いありません。

そもそも私とこの業界とは、高等学校3年生のときに受けた「日活第5期ニューフェイス募集」がすべてのはじまりでした。高等学校に通っていた当時の私は、とにかく映画が大好きな少年で、週に何度も映画館に通っていたものです。学校で行われた将来の進路に関するアンケートでは「映画俳優になりたい」と書くほど、すっかり銀幕の世界に心酔していましたから。ただ、私は幼少期からなかなか賢かったといいますか、地元では神童なんて呼ばれておりましたね。(笑)それが高等学校入学以降、成績はつるべ落としのごとくガタ落ちになっちゃって…。

そんな体たらくを知り教職に就いていた父は怒り狂いました。「こいつの目を覚まさしてやらねば!」と、偶然新聞で日活のニューフェイス募集の広告を見つけた父は、勝手に私の願書を送ったわけです。その目論見はもちろん、私がそれに落ちて夢破れ、正氣に戻させることだったのでしょう。しかし結果、4万5千人が応募したそのオーディションに私は合格。やっぱり、見る人が見ればわかるのでしょうかね(笑)。

なりゆきはともかく、踏み込むことのできた憧れのこの業界。目にするすべてが輝いて見え、大いに胸が高まったものです。とりわけ当時の日活には、石原裕次郎さんをはじめ小林旭さんや吉永小百合さんといった、華やかな国民的大スターの方々がそろっていました。みなさん本当に素晴らしい方ばかりで、随分とお世話になったものです。

懇意にいただいたふたりの先輩方には頭が上がりません。ひとり目が浅丘ルリ子さん。私は、小林旭さん主演の渡り鳥シリーズで浅丘さんの弟役として、映画俳優としてデビューしました。以来、浅丘さんは私のことを本当の弟のようにかわいがってくれて、礼儀作法から演技まで、俳優として必要なものすべてを教えてくださいました。実はこれが一番ありがたかった…という失礼なんですけれど、駆け出しの俳優はギャラが安くて、食べていくのが大変だろうと、浅丘さんは食事の面倒も見てくれたのです。「実家に母親がいるから、おなかがいらいいつでもおいで」って。素直だった私は、そのお言葉に甘えて朝も昼も夜も、頻りに浅丘さんのお母さんの料理をいただいたものです。今でも、浅丘さんからお電話をいただくと、直立不動になってしまうほど感謝しています。

